

【学習の仕方について】

今回あなたがすべき事は、「①ノートに書き写す(自分で記載するような指示がある5カ所も記載) →

① 読み直す → ③**太字・斜体**の言葉を暗記する」になります。ですので、ノートの提出が必要で、提出は臨時休業終了後となります。なお、追加課題は19日にプリントの形式で出されますが、やり方は今回と同じですので同様に行ってください。

最後に進路に向けて必要な事を何点か記載していきます。よく読んで、中に書かれている実施した方がよいのではと思われることを実施してみましょう。

【ここからがノートになります】

経済活動における法の役割

集団で何か行うにはルールが必要

↓

社会生活においては**社会規範**といわれる

↓ (具体的には・・・)

法・道徳・慣習・宗教上の戒律 など

*道徳って何? (・・・の後に書き込みましょう)

・自分のイメージでは・・・

・スマホなどで調べると?・・・

*慣習って何? (・・・の後に書き込みましょう)

・自分のイメージでは・・・

・スマホなどで調べると?・・・

法の体系と意義 (法とそれ以外の社会規範の違い)

Q. 法とそれ以外の社会規範の大きな違いは何か?

A. 強制力の有無

↓

電車で席を譲る：法ではなく道徳。だから「ねばならない」ではなく、「そうした方が良い、そうすべきだ」になる。→罰則規定はない

人のお金を取る：「とってはいけない、許されない」であり、「とらない方が良い」ではない。

→ 犯罪として罰則がある

違法な行為は処罰を受ける

宗教上の戒律は、信仰している人にとっては強制力と同様の意味を持つかもしれないが信者以外には強制力はない。

「経済活動と法」という授業なのだからこれから法について考えていきます。最初に、法を分類してみましょう

分類1 **成文法** と **不文法**

Q. 何となく違いをイメージできますか?

↓

A. 文章によって成り立っている法が成文法。文章として成り立っていない法が不文法。

(日本国内で適用される一般的な法律は基本的に成文法)

- ① 不文法：慣習法や判例法などを指し、今までの積み重ねから、法律に反しない又は法に規定されていない部分においてのみ法律と同等の効力を持つ。明確な条文として成り立っていない。



慣習法～法の適用に関する通則法によれば、**公序良俗**に反しない慣習は法と同等の効力を有する

例：アパートを借りる際には家賃の他に敷金や礼金、協力金などがかかります。これはアパートなどによっても違いがありますが、払わなければいけないとか払わなくていいという法律上の規程はどこにもありません。払うものだと認められている（法と同一の効力を持っている）

判例法～刑事事件などで同じような事件で同じような判決が繰り返された場合、同様の事件には同じような判決が下されるようになる。このような法規範を判例といいます。

*ところでさっき出てきた公序良俗って何でしょう。ネットなどで調べてノートに記載しましょう。

- ② 成文法：文書の形式で存在し、国（国会）や地方公共団体などがあらかじめ定められた立法手続きに沿って制定する法



成文法はたくさんありますが、ここでは法律のカテゴリーを示します。なお、先に出たカテゴリーの法が優先される、つまり先に書かれた法の方が強いということになります。



憲法・法律・命令・条例・規則・条約

*例えば民法という法がありますが、これは法律の中の1つということになります。ですから、民法の中に憲法に反する内容があるとしたら、これは認められず、憲法の内容優先されると考えましょう。

【進路を控えたみなさんに】*ここはノートに写しません

本来ならば進路決定に向けていろいろな先生から指導を受け、保護者と話し合いを行い、自分の進路を決定していなければいけない時期です。正直例年に比べれば後れを取っています。不安なことがあれば担任の先生や進路指導の先生とコミュニケーションを積極的にとってください。

今日みなさんにお話しするのは面接についてです。みなさんが経験した面接は高校入試のものだけ、という人が多いことでしょう。正直言うとあのレベルの面接では、これからの就職や進学のための面接にはまったく役に立ちません。なんとかなると思っている人は今のうちに現実を直視してください。

では、どんなことを聞かれるのか？これを知る方法は進路指導部にある、過去の受験報告書になります。みなさんの先輩が実際に面接で聞かれた質問が書かれています。このような質問に丸暗記丸出しの幼い受け答えでなく、流暢な言葉で受け答える事が必要です。まずこれを読むことからスタートです。学校が始まったら進路指導部通いを始めましょう。

最後にもう1つだけ。進学と就職では面接で相手の知りたい事が違います。（勿論共通部分もありますが）進学は、今まで何を学んできて、今後その学校でどんなことを学びたいかを具体的に伝えることが求められます。これに対して就職の面接はあなたがどんな人かを理解してもらい、よい部分をアピールすることが必要になります。伝えることが違えば面接の準備も違うのが当然です。無駄な努力も人生には重要なことですが、まずは自分の身につけるべき力をつけることから始めましょう。